



今号から編集長になりました。
よろしくお願いいたします。

編集長
イジマ

総務Gとして講師を務めた 研修の様子



今

月回は、総務で企画・運営した二つの社内研修の様子をお届けします。一つ目は、入社5年目未満を対象にした1泊2日の研修です。この研修は、研修内容の立案から総務 G が携わり、講師も行いました。運営することは大変でしたが、**各部署がそれぞれ行ったプレゼン大会では、期待を上回る盛り上がりで白熱しました。**

二つ目は弊社のエコメン G が主導し、新原の公民館にて研修を行いました。「環境よもやま話」でもご執筆いただいている鎌田先生にお越しいただき、産業廃棄物の基礎知識や、弊社社員が作業現場で使用している道具と車の使い方、注意事項などについてご講演いただきました。**受講した社員だけでなく、運営した総務Gも大変勉強になり、有意義な研修となりました。**

Episode. 11

【お盆の風習の違い「笛吹のあべ川餅と浜松のおしよろさま」】

お盆は全国共通の行事でありながら、その風習は土地ごとに異なります。隣り合う山梨県と静岡県も例外ではありませんが、その違いをたどっていくと、意外なつながりが見えてきました。今回は、二都それぞれのお盆の風景をご紹介します。

笛吹を含む甲府盆地周辺では、お盆になると「あべ川餅」が食べられます。もとは静岡市を流れる安倍川の名を冠した菓子で、焼いた餅に砂糖入りのきな粉をまぶしたものが原型とされています。一説によると、きな粉を安倍川の砂金に見立てた餅を徳川家康公が気に入り、「安倍川餅」と名付けたのだとか。

静岡から山梨へ「安倍川餅」が伝わったのは、古くから両地域の交流が盛んだったためです。富士川舟運や甲州往還、そして鉄道へと続く往来の中で、山梨では四角い餅にきな粉と黒蜜を合わせた、現在の「あべ川餅」へと姿を変え、お盆の供物として定着したと考えられます。のちの

山梨名物「桔梗信玄餅」の着想の一端になったともいわれ、家康公と信玄公の縁が思いがけない形でつながっているかのようです。

「迎えは馬で早く、送りは牛でゆっくり」。そんな願いを込めて供える牛馬の飾りは、全国各地で見られますが、浜松周辺ではこの牛馬を「おしよろさま」と呼びます。本来「お精霊様（ルビ：しょうりょうさま）」はご先祖様の霊そのものを指しますが、浜松では牛馬にその名を重ね、親しみを込めてきました。馬はキュウリ、牛はナスで作り、足にはオガラ（麻の茎）、目には小豆、耳には南天の葉、鞍にはインゲンという細やかなしつらえが今も大切に守られています。また、浜松では初盆に限り特別に馬と牛の両方を用意し、多くの人が弔問に訪れる「盆義理」も行われます。親族だけでなく近所や仕事関係の人まで足を運び、家の中が一日中にぎわうのが特徴です。一方、通常のお盆では牛だけを仏壇に供え、静かにご先祖様を迎えま

す。（この風習は地域や家庭によって異なる場合があります）

お盆の時期については、笛吹・浜松ともに地域によって7月盆と8月盆が混在しています。これは明治の改暦の際、都市部では新暦の時期を、農村部では農繁期を避けて旧暦に近い時期を選んだ名残であり、今も受け継がれています。お盆の風景は違っても、ご先祖様を思う気持ちは同じです。その土地ならではの風習をこれからも守っていききたいですね。



●参考資料
山梨日日新聞 南アルプス支局ブログ「山梨のお盆」
<https://sannichi.jekumo.biz/minami Alps/>

Soel Flowers「浜松市（遠州地方）の初盆について」
<https://soelflowers.jp/>

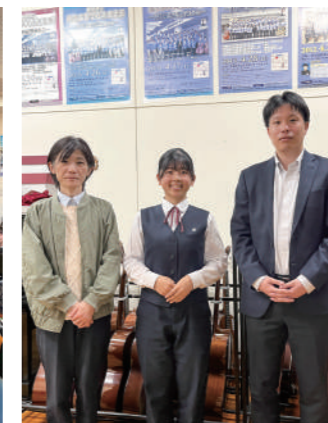
天星 Magazine

[テンボシ マガジン]

vol.23

Jul. 2026

真剣に練習に取り組む 吹奏学部のみなさん



静岡県立浜名高等学校
吹奏楽部 部長
村松 さん

今回は、弊社の社長と私の母校の静岡県立浜名高等学校にお邪魔させていただき、吹奏楽部の取り組みについてご紹介いたします。吹奏楽部を率いる部長の村松さんにお話を伺いました。

井嶋：まずは、どのように部活動をされているのか教えてください。

部長：現在は2・3年生合わせて34名で活動しています。部内はとても明るく元気で、お互いの個性を認め合える温かい雰囲気があります。「We Are Family」をモットーとし、家族のように何でも言い合える関係を目指していて、部員全員が誰とでも壁を作らず話せる、仲の良さが自慢です。

井嶋：どのような演奏を目指していますか？

部長：「大胆かつ繊細な演奏」を目標にしています。大胆に自分たちを表現する強さと、細部までこだわり抜く繊細さを併せて持つことで、音楽の幅が広がり、自分たちが本当に伝えたい表現を聴き手に届けられると考えています。

井嶋：浜名高校吹奏楽部ならではの「伝統」があると伺いました。

部長：私たちは「部の運営を生徒自らが行うこと」を代々受け継いできました。部員全員に「一人一役」の役割が与えられ、それぞれが責任を持って仕事をこなしています。例えば、その中の一つの広報を例にとってみると、チラシの管理やチケットの手配などを担当しています。

井嶋：高校生のうちから、社会人のような経験ができるそうですね。

部長：例えば、定期演奏会の広告協賛を企業様にお願いすることがあります。そのための企業様との電話対応やメールのやり取りも、私たち生徒が直接行っています。言葉遣いや振る舞いなど、部活動を通して学んでいます。私は、部長として「自分の負の感情を全員の前で出さない」ことを心がけています。リーダーの表情一つが部全体の士気に影響するからです。こうした責任感を持てるようになったのは、この部活動のおかげです。

井嶋：今年度の目標は何ですか？

部長：昨年度は長年続いていた東海大会への出場を逃してしまいました。今年度は

その「雪辱を果たすこと」が最大の目標です。まずは8月の大会で自分たちが納得でき、審査員の方々にも認めていただけるような圧倒的な演奏をして、再び東海の舞台、そしてその先の全国大会を目指して貪欲に突き進みたいです。

井嶋：部長は「特進クラス」に在籍しながら活動されています。文武両道の秘訣は？

部長：浜名高校には「大学受験の際に第1志望校を目指すことも、部活での成功も、どちらも諦めなくていい」という空気があります。クラスメイトもみんな応援してくれますし、切磋琢磨できる環境が力になっています。将来は国語の教師になり、吹奏楽部の顧問を務めるのが夢です。部活動で培った「人前に立つ度胸」や「周りから信頼される振る舞い」を、将来に繋げていきたいです。

井嶋：最後に、地域の方々へメッセージをお願いします。

部長：地域のイベントで演奏させていただくことがあります。その時に、皆様からいただく温かい拍手や野球部員から「おかげでがんばれたよ」などという言葉が私たちの何よりの原動力です。これからも部員同士の「家族」の絆を大切に、心に響く音色を届けていきます。応援よろしくお祈りします！

< 発行 >

天星製油株式会社

検索

< HP >



〒434-0003
静岡県浜松市浜名区新原 3833-1
TEL：053-586-9911
<https://www.tenboshi.com/>

育児休業を取得したメンバーが語る働き方改革

天星製油株式会社では、女性社員だけでなく、男性でも取れる「育児休業制度」を推進しています。育児休業は子どもの養育を目的として設けられた休業制度です。**両親が協力して育児ができるように定めた制度で、近年では男性の取得率も上がっています。**その他、天星製油は、年次有給休暇とは別に、育児目的休暇として子ども一人につき3日取得できる休暇制度「特別休暇」や、出勤時刻・退勤時刻を1日の所定労働時間8時間の中で調整できる「時差出勤」、「子ども手当」など働きやすい環境が整っています。今回は、弊社で育休を取得した男性社員3名が集まり、子育てと仕事の両立や育休について語ってもらいました。

参加メンバー紹介

川合さん (30代) 長女 5 歳 長男 1 歳	増淵さん (30代) 長女 2 歳	山田さん (30代) 長女 5 歳 長男 1 歳
事務課総務 G 所属で育児。休暇は1ヶ月取得。夫は近々職場復帰予定。	エコメンG 所属で育児。休暇は1ヶ月取得。夫婦共働き世帯。	営業課所属で育児。休暇は1ヶ月取得。夫婦共働き世帯。



Q 育児休暇を取得したことによる変化や感想

川合さん：2人目が生まれ始めて取得した際は時間に余裕ができて精神的に安定し、育児を楽しめることができました。その余裕から3人目も欲しいなと思っています。

増淵さん：育休を取得したことにより、深く育児に関わることができましたし、家での役割分担もでき、今までより積極的に家事を行うようになりました。

山田さん：1人目の時は別の職場に勤めており、取得できる状況ではありませんでした。今回は、妻の負担を軽減してあげることができ、長女にも時間を使ってあげられたので良かったです。

Q 仕事と子育て・家庭の両立で工夫していること

川合さん：毎朝、子どもたちを保育園へ送り届ける役割を担っています。その他、家事等も積極的に参加するようにし、子どもばかりに意識が向かないよう妻へ毎日「ありがとう」の感謝を伝えるよう意識しています。

増淵さん：基本的には妻も働いているので、協力するスタンスをとっています。育休中に家事等の役割分担ができたのでそれを継続中です。

山田さん：子どもたちの夕方のお迎えとお風呂を毎日担当しています。なるべく自分たちで子育てと仕事を両立できるよう助け合っています。

Q 会社の制度についてどのように感じていますか？

3人共通：育休を取る際、同じ部署の方が快く協力してくれました。育休が明け、仕事に復帰してからも、子どものための「特別休暇」や「時差出勤」の制度があるので利用しながら子育てと仕事を両立しています。「時差出勤」を利用して毎日の送り迎えをする時や、子どもの預け先で、急に子どもが体調不良になる時への対応などに休暇を取得しています。また、子どもの行事に参加しやすいので、とても助かっています。天星製油は有休がとりやすい会社なので、働きやすい職場環境となっていると感じています。これから自分たちの後輩が同じ立場になる可能性もあるので、そのときは自分たちがしてもらっているように協力をしてあげたいです。

社長からの一言！

安心して子育てできる会社にしていきたくと思っています。私は適齢期を過ぎましたが（笑）子供が小さかった時は、家族に大変な負担をかけていたことを思い出します。社内の理解も得つつ、より良い環境にしていきますよ！

前回コラムでは、産業廃棄物の処理を受託するに際して必要な許可制度について記載しましたが、今回はそれを少し深掘りして書いてみたいと思います。許可の種類は、①収集運搬業と②処分業に分かれていることは前回お伝えしましたが、このうち①収集運搬業については、業務を行うとする都道府県毎に許可を得ることが必要な法体系になっています。「業務を行う」とは、④運搬委託を受けた排出事業場で産業廃棄物を積み込む行為及び⑤指定された処分先でそれを降ろす行為を指します。従って、④⑤が別々の都道府県で行われる場合は、それぞれの知事から①収集運搬業許可を得ないと、この業務を行うことができません。全国に取引先排出事業者や処分先が存在する大規模収集運搬業者にとっては、最大47の収集運搬業許可が必要ということになります。弊社も静岡県を拠点に東海全県、関東甲信地域の9都県で収集運搬業許可を取得し、集荷業務に当たっています。ちなみに、全国では、約23万件の収集運搬業許可が交付されているという集計結果

があります。無論許可業者が23万社あるということではなく延べ許可件数がこれだけあるという理解をお願いしたいのですが、②処分業許可件数が全国集計で1万3千件であるのと比較して、いかに①収集運搬業許可件数が多いかがお判りいただけると思います。次に②処分業許可については、許可権限設定の考え方が①収集運搬業許可と異なっています。具体的には、処分施設が所在する土地が、政令市（政令指定都市+中核市が該当：全国82市）にある場合は、当該政令市長に許可権限が付与されています。弊社を例にとれば、①静岡県内での収集運搬業許可については静岡県知事から、②処分業許可については、浜松市長から許可を得ています。処分施設が当地ではなく、磐田市内にあったと仮定すれば、①②ともに静岡県知事の許可を取得することになります。先ほどの全国集計結果で見ると②処分業許可の内訳は、機械設備等を用いて産業廃棄物を処理する中間処分が圧倒的に多数で1万2千件あるのに対して、地中に埋め立てを行う最終処分は800件弱に留ま

ています。この集計結果から判ることは、埋立処分場の新規立地の困難化が埋立処分許可件数の減少に繋がった一方で、リサイクル率の向上に繋がるというプラスの効果を生み出していることです。埋立処分場が豊富に存在していた時代には、安易に低料金で埋立処分が行われていたのですが、埋立容量の減少とともに埋立料金の高騰が生じ、それまで見向きもされなかった再生処理を行うリサイクル技術が注目される時代に変化してきたのです。現代は真に循環型社会形成、SDGsが求められる世の中になっています。（鎌田環境コンサルタント 鎌田俊己さん）



Key Word

- 交通安全 KYT 訓練 (3月)
「株式会社トップ」による安全運転講習会。
- BCP 防災訓練 (4月)
ロープワーク
(日常でも使えるロープの使い方)。
- 漏油訓練 (5月)
強力吸引車の使い方。



ロープワークのトレーニングをしました

項目	排ガス	放流水	観測孔 (水質)
		生活環境項目	
実施日	(2025.12)	(2026.02~2026.04)	(2025.12)
測定結果	○	○	○